

薬剤科ニュースレター 2025年7・8月合併号

No.4 2



①最近添付文書の改訂がなされた医薬品について

7月配信分の医薬品安全対策情報（DSU）より

i) 以下2種は速やかに添付文書の改訂がなされます

⊕ デスマプレシン酢酸塩水和物（経口剤）		241 脳下垂体ホルモン剤
改訂箇所	改訂内容	
[11.1 重大な副作用] 追記	アナフィラキシー	

ミニリンメルト0D錠25 μ g・50 μ g（フェリング・ファーマ）



(01)14987051747128

ミニリンメルト0D錠60 μ g・120 μ g・240 μ g（フェリング・ファーマ）



(01)14987051748125

⊕ チアマゾール		243 甲状腺、副甲状腺ホルモン剤
改訂箇所	改訂内容	
[11.1 重大な副作用] 追記	急性膵炎： 上腹部痛、背部痛、発熱、嘔吐等の症状、膵酵素異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。	

メルカゾール錠（あすか製薬＝武田薬品）



(01)14987123003329

メルカゾール注（あすか製薬＝武田薬品）



(01)14987123158869

以上当院採用薬剤の添付文書改訂がございました、ご確認の上ご注意お願いいたします。

②クロザピン治療について

6月の新人研修会および7月の医療安全研修会（医薬品関係）でクロザピン治療について講話いたしました。主にクロザピンによる副作用について説明しました

①クロザピン治療における決まり事

クロザリルは入院して開始します

治療は必ず入院中に開始します。

■ 服薬開始後3週間は必ず入院していることが必要です。退院もできません。
(心筋炎は、服薬開始後3週間に発症しやすいといわれています)

■ 服薬開始後18週間までは、原則として入院が必要になります。
(無顆粒球症は、この間に発症しやすいといわれています)



外来治療に移行する条件

次にあげる条件が整えば、服薬開始後4週以降は退院して外来による治療へ移行することができます。

- ① クロザリル開始後3週間以上経過していること。
- ② クロザリルの適切な投与量が明らかになり、その投与量で1週間以上入院により経過をみていること。
- ③ その方と同居して、症状を確認してクロザリルの服薬や通院を支援する人(支援者)がいること。

この場合の支援者としては、同居している親や家族が考えられますが、退院する場所が夜間スタッフが常駐している施設などの場合でも可能です。この場合、クロザリルによる副作用と思われる症状がみられた場合は、直ちに担当医師に相談するように、退院の際に患者や支援者に十分説明します。



クロザリルによる治療中は、定期的な検査を必ず受けていただきます。

白血球数、好中球数の検査

■ 無顆粒球症への対応のために採血し検査します。

✓ 検査頻度 服薬開始後26週間(6か月間)：1週間に1回
それ以降：2週間に1回
検査結果によっては1週間に2回

処方には検査が必要が必要です。



血糖値、HbA1c値の検査

■ 糖尿病への対応のために採血し検査します。

✓ 検査頻度 2週間～3か月間に1回

他の病院に入院する場合

他の病院に入院する場合は、入院する医療機関の医師にクロザリルを服薬していることを必ず伝え、さらにその病院の医師からクロザリルを処方している医療機関の医師へ必ず連絡してもらってください。

クロザピン治療は入院から開始すること、一定の条件がそろえば服薬開始後4週以降は外来治療が可能であること、等々お約束を説明しました。

* 図はノバルティスファーマ㈱のWEB および患者用冊子より引用

②クロザピン服用で注意すべき有害事象(副作用)

重篤な副作用として、無顆粒球症と高血糖を挙げました
また、よだれが出る、便秘、傾眠、倦怠感発熱、体重増加など他の抗精神病治療薬にもみられるような副作用があることも説明しました



③当院のクロザピン実績に関して投与量(服用量)とクロザピン血中濃度の相関性を紹介

「現在クロザピン治療されている患者さん66名中58名の方が血中濃度を測定されており、投与量(服用量)とクロザピン血中濃度の相関性を調査した。結果、クロザピン投与量100mgから最大投与量である600mgの範囲内で、クロザピン投与量とクロザピン血中濃度($y = 1.9147x + 125.22, R^2 = 0.314$)との間には相関が認められた」考察としては、クロザピンは個体間変動が大きく、同一投与量においてもクロザピン血中濃度はばらつきが大きく、その人その人によって効き方に違いがある、したがって、効果や副作用の発現も個人差があることが予想された

**暑い毎日が続きます、熱中症に気を付けて健康管理にご注意ください

